

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	モデルプロジェクトの継続性向上 (地域IT人材育成事業)				部(局)	産業労働部				
					所管課	新産業課				
					担当班	情報・成長産業振興班				
					連絡先	078-362-3054				
開始年度	令和3年度	終了年度	-	関連計画等	厚生労働省地域活性化雇用創造プロジェクト					
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等	県				
事業目的	<p>生産年齢人口減少社会における労働力不足を解決する手段として、県内各地の地域DX化を推進するため、首都圏のIT事業者、県内に新たに事業所を開設したIT事業者等と連携しながら、社会課題・地域課題の解決を担う若者・女性・シルバー等の多様なIT人材を育成するプロジェクトに対し支援を実施する。</p> <p>また、県内で実証されたモデル的な取組の成果課題を県内他地域にも広く発信することにより、事業の横展開・全県展開を目指す。</p>									
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象事業 : 新しいIT技術等で社会課題・地域課題を解決するモデルプロジェクトを通じた地域のIT人材育成事業</li> <li>・委託先 : プロジェクト期間中、県内に活動拠点を有するIT関連企業等</li> <li>・委託上限額 : 1件あたり最大2,000千円(税込)</li> <li>・採択件数 : 10件程度(※上限総額20,000千円(税込)の範囲内で採択)</li> </ul>									
これまでの改善状況	-									
業務フロー	運営事務局の公募・選定→プロジェクト事業者の公募・選定→実証実験→成果発表会・周知									
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額		3年度決算額		4年度当初予算額		5年度当初予算額	
	事業費①		0千円		27,026千円		30,445千円		30,445千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		27,026千円		30,000千円		30,000千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		0千円		445千円		445千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(26,341千円)		(29,077千円)		(29,077千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(685千円)		(1,368千円)		(1,368千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円		30,445千円		30,445千円		30,445千円	
	執行率((①/②)×100)		0.0%		88.8%		100.0%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.0人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人
			0千円		4,113千円		4,310千円		4,310千円	
職員給与費	a	0千円		3,551千円		3,755千円		3,748千円		
賞与引当金繰入額	b	0千円		286千円		290千円		286千円		
退職手当引当金繰入額	c	0千円		276千円		265千円		276千円		
総コスト(①+③)		0千円		31,139千円		34,755千円		34,755千円		

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標(アウトカム指標①) 雇用創出人数(累計)	目標	-	24	36	60
実績(見込)			-	24	36	(60)	
(単位当たりコスト)			-	(1,297千円)	(965千円)	(579千円)	
達成率(見込)			-	100.0%	100.0%	(100.0%)	
成果指標(アウトカム指標②)		目標	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
成果指標(アウトカム指標③)		目標	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
評価	活動指標(アウトプット指標①) プロジェクト参加IT企業数	目標	-	12	12	12	累計36【R5年度】
		実績(見込)	-	12	11	(11)	
		(単位当たりコスト)	-	(2,595千円)	(3,160千円)	(3,160千円)	
		達成率(見込)	-	100.0%	91.7%	(91.7%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
	活動指標(アウトプット指標③)	目標	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
目標	終期設定	(現行地プロがR3年度からR5年度まで(R5年度にR6年度以降の次期地プロ事業を検討))					無
	改善基準	成果指標(アウトカム指標①)目標の2/3を下回る場合に見直しを検討					
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	IT事業者等と協働で実証事業に取り組むことにより、地域課題・社会課題を的確に踏まえた事業である。情報発信に取り組み、指標に対する実績として、目標100%を達成した。		プロジェクト受託事業者の公募・選定、実証事業、実証成果の発表まで、運営事務局の民間団体の知見とノウハウを活かしながら、県として一連の支援を実施することで、雇用創出人数も目標を達成しており、IT事業者等が有する技術と社会課題・地域課題をマッチングする課題解決モデルとして事業展開ができた。今後の課題として、新規事業者の掘り起こし、継続性、事業の横展開・全県展開の強化が必要である。			
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など	公民連携事業に知見を有する民間団体に委託することで、効果的な情報発信を実施。発表会の開催や、プロジェクト受託事業者へのフォローを実施し、効率的な実証事業に努めた。					
評価	課題・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 (地域課題解決のきっかけづくり、人材育成にも資するが、継続的な事業化に至らない場合がある(支援終了時点で事業化段階のプロジェクト:R3・5/10件、R4・6/10件)。事業スキーム見直しや地域課題を解決する他事業との統合等により、継続性の向上を図る。             )					
	外部委員会	・ひょうごTECHイノベーションプロジェクトに統合していくのは、適切な検討の方向性ではないか。 ・アウトカム指標は、国事業として雇用創出人数を残すとともに、県事業でもある以上、県の理念に沿った指標も入れるべきなので、採択プロジェクトの計画に対する達成度も指標として検討してはどうか。 ・うまくいった事例について、同じ課題を有する他の地域への横展開を検討すべき。					
改善結果							
・R6年度からは、ひょうごTECHイノベーションプロジェクトと統合し、成功事例については展示会等を実施し同様の課題を有する多地域への横展開の支援を実施する。 ・ひょうごTECHイノベーションプロジェクトのアウトカムには雇用創出人数を追加するとともに、採択プロジェクトの事業計画に対する達成状況も指数とし定める。							